

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金交付対象事業別概要

(薄井沢地区活性化計画)

計 画 主 体 名	計 画 期 間
とちぎけん にっこうし 栃木県日光市 栃木県(代表)	平成27年度～平成30年度

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
栃木県農政部農村振興課	028-623-2363	028-623-2337	noson-sinko@pref.tochigi.jp
日光市産業環境部農林課	0288-21-5172	0288-21-5575	nohrin@city.nikko.lg.jp

I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標		増 加 率 等 の 算 出
	増加率等	
定住等の促進に資する基盤整備の円滑化	1年	設定する目標は計画区域における区画整理事業着手までの年数とし、以下により求めることとする。 計画区域における区画整理事業着手までの年数(年)＝事業実施(平成27年～29年度)後、区画整理事業の着手(平成30年度)までの年数(年)
事業活用活性化計画目標の設定根拠		
薄井沢地区は市の南部に広がる今市扇状地に発達した水田地帯の一部であるが、水路や道路などの農業生産基盤が未整備であり、区画形状は狭小で不整形であるため、生産性の低い基盤状況となっている。 このため、農地整備事業の実施により、生産基盤の整備及び農用地の集団化を行い農作業効率の向上を図ることにより、農業後継者の農業に対する意欲を増進させる。また担い手への農地利用集積を促進することにより、担い手が意欲を持って定住できる環境を整備し、農業従事者の定住化を図る。 農地整備事業の実施の実施に当たっては、調査、計画、換地作業及び施工のすべての部門にわたって基本となるべき地形図の作成と、地区内農地等の状況を調査し地域の実情に合わせた営農構想を作成する農用地等集団化事業の実施が必要であり、農地整備事業の円滑な実施を計画目標とする。計画目標は、計画区域における区画整理事業着手までの年数であるため、増加率を1年とした。		
事業活用活性化計画目標		増 加 率 等 の 算 出
	増加率等	
事業活用活性化計画目標の設定根拠		

Ⅱ 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要望額 (千円)	交付額 算定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性
基盤整備 (地形図作成)	薄井沢地区	地形図作成	142ha	H27年	日光市	7,600	3,800	1／2	3,800	地区内の分散化された農地の集団化を行い、担い手や後継者の確保と育成を図り定住化に資するために、経営体育成促進換地等調整事業及び地形図作成事業を実施し、農地整備事業薄井沢地区の円滑な着手を図る。
基盤整備 (農用地等集団化)	薄井沢地区	経営体育成促進換地等調整 (地区内農地等状況調査、合意形成促進、地区内アンケート調査、地域営農構想作成、換地設計基準作成、経営体育成方針作成)	96ha	H28～H29年	日光市	6,630	3,315	1／2	3,315	
合 計						14,230	7,115		7,115	

Ⅲ 他の施策との連携に関する事項 …該当なし

(交付対象事業別概要)

連携する施策名	事業メニュー名	地区名	連携する施策と交付対象事業の関連性等

Ⅳ 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金年度別事業実施計画

[illegible]

